

2022年度 第5回 藤沢市立片瀬中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2023年3月2日（木）11時～

場 所 片瀬中学校 会議室

出席委員	西永 雄二 元片瀬中学校PTA代表 若月 哲夫 元片瀬山防災会副会長 岩田 和美 片瀬地区青少年支援フォーラム代表 本澤 剛 片瀬中学校PTA代表 村上 純子 藤沢市社会福祉協議会片瀬地区担当CSW 横田 淳一 片瀬市民センター長 湯山 薫 片瀬中学校校長 池田 裕 片瀬中学校教頭 山下 太一郎 片瀬中学校地域支援部担当教諭 以上委員11名のうち9名出席
次第	1. 開会 司会 西永会長 2. 学校の様子について （校長） 3. 議題 (1) 学校評価結果について （池田委員） (2) 令和5年度以降のPTAについて （池田委員） (3) 令和5年度学校運営協議会委員について（池田委員） 4. その他 ・令和5年度の会議日程（予定）＊変更の可能性あり 第1回 5月 2日（火）10：00～ 会場：片瀬中学校1階会議室 第2回 7月14日（金）11：00～ 会場：片瀬中学校1階会議室 第3回 11月20日（月）11：00～ 会場：片瀬中学校1階会議室 第4回 1月23日（火）11：00～ 会場：片瀬中学校1階会議室 第5回 3月 1日（金）11：00～ 会場：片瀬中学校1階会議室 5. 閉会
協議内容	（意見等） ＊3（1）学校評価結果について ・ここで承認を頂いたうえで保護者に配布する。保護者の回答率は半数。回答率が上がるように改善したい。3年は入学直後が新型コロナによる休校等があった。その影響が気になったが「生徒にとって学校とは」の項目で「行くのが楽しい」が多いところに安堵した。しかし、そうではない生徒も存在するので更に配慮していく。「生徒にとっての先生とは」の項目では上昇傾向だった。これも、そうではない生徒への配慮を継続する。「生徒にとって学習とは」は、どれも上昇傾向だが「予習や復習に取り組んでいる」の項目に改善の余地がある。また、心理的安全性は担保された場所であるという結果といえる。 ・昨年度からの課題について。「委員会に積極的に参加」は改善。部活動については若干の減少あり。以前にもどりつつある。地域移行の影響もあるだろうか。また、部活動に所属していない生徒の増加も影響も推測される。子どもたち全体としては、多くの項目で上昇している。 ・保護者は10項目が下がっている。昨年度は上昇していたので課題がある。「子どもの悩みに適切に対応している」が低い。生徒の評価は低くないので教員と生徒のつながりが家庭に伝わっていない部分もあるのだろうか。保護者にも伝わる形で、ケアができる体制をつくりたい。 ・保護者の自由記述欄では「校則は必要ないのでは」という意見があった。家庭によ

って価値観が違うため学校では社会性をつけるためと学校での集団生活という点で一定のルールが必要になる。昔は教員が一方的に決めていたが、今はそういう時代ではない。子どもの自治としてルールを見直せるとよい。

また、「状況把握をせずにすぐ指導する」「感情が露骨に顔に出る」というご意見をいただいた。昔は一方的な指導が多かったが、様々な背景がある生徒に対し背景を理解した上で、子どもに寄り添う支援を大切にしたい。

「江の島という地を生かした指導、学校の教育活動に組み込んでいきたい」というご意見もいただいた。この恵まれた環境を活用していきたい。

若月委員：保護者はいろいろであり、時代とともに保護者も変わっていつている。考え方が違う部分がある。年寄りとしては「家庭はなにしている」という感情もある。生活のルールをちゃんとしていれば、学校はそこまで規則を強くしなくてもよくなる。

岩田委員：不登校生徒にはこのアンケートできているか。出てこない意見に耳を傾けるとわかることもあるのではないかな。そのときの自分の状況によって、昨日と今日でも回答が変わる気もする。アンケートは難しい。保護者が学校に来られていない分、学校の存在が遠くなったのかもしれない。その分、良さも悪さも伝わらない。地域、学校、家庭のつながりを大切にしたい。

本澤委員：生徒も人それぞれである。ルールありきでいる生徒も多いのではないかな。

村上委員：アンケートのまとめがすごくよい。不登校の保護者と学校をつなげる際にCSWとして、連携方法に悩んだ時期もあったが、今は学校と一緒にやっていっている。片瀬は裕福で困っていないという見られかたをしがちだが、経済的だけでない孤立、障がい等の課題を様々に抱えている方もいる。行政に相談しても、たらい回しにされたケースで、学校とのやりとりで救われたケースもあった。

西永委員：生徒にCSWの存在の認識はあるかな？

村上委員：学校掲示（配架）はあるが、あまり周知はされていない。関係機関から連絡が入ってつながるケースが多い。生徒側からつながりを求める方法があるとよい。

横田委員：子どもは学校と家との往復。学校で素を出しているのだろう。子どもと親の関係が難しくなっている。市民センターでは思春期の親へのアプローチを考えている。

西永委員：先生は毎日授業大変なのに、感情もコントロールするのは大変だろう。これを悪く受け止めてしまうのは、保護者と先生の関係性で決まるのだろう。たまに怒る先生なら許容される、そんな保護者との関係を構築できるとよい。校則があることで、経済的に困っている生徒が助かる側面もあるという考え方を新たに知った。様々な苦情を先生方がすべて背負う必要はない。学習の質問で生徒は学びを教科書だけと捉えていないかな。教科書以外の学びも大事にしたい。

* 3 (2) 令和5年度以降のPTAについて

池田委員：3月PTA総会で、解散への反対は0だった。来年度からPTAはなくなる。危惧しているのは、校外的な部分。残金の用途は学校に必要な備品の購入等と周年行事のための基金とする。

本澤委員：年が明けての役員会、総会で発展的な解散をすることが決まった。PTAはなくなるが、保護者はいる。今後どうつながりをどう作っていくかが課題。

岩田委員：部活の保護者会も全員ではない。どこかでつながりを作った方がいい。

本澤委員：学級委員は決める。

岩田委員：PTAを通していろいろなことを知ることができた。なくなるのは残念。学校に直接声をかけられない人の、つながるきっかけだったと思う。

西永委員：現役の保護者だけだと継続が厳しい。OBがいてもよいと思う。解散への反対は0というのがさみしかった。

本澤委員：余裕のある人を根っこに、組織作りをする方向が現実的かもしれない。

湯山委員：最近は「学校はサービスを提供する側、保護者はサービスを受ける側」などと保護者が思っている印象を受けることがある。P T Aの活動を知らないからそう思う側面もある。伝える努力をする。そして、楽しくするしかない。楽しくすれば、やりたくなると思う。

西永委員：新生組織を考えている。

＊3（3）令和5年度学校運営協議会委員について

池田委員：任期は次年度まだが、若月さんは今年度で退任される。P T Aはなくなるが本澤さんには保護者代表で継続していただく。保護者代表をもう一人増やす方向で検討中。運営協議会が学校のサポーターになってもらえるような組織にしていきたい。

西永委員：予算0だと厳しい。どこからか捻出したい。

次回開催日程	2023年5月2日（火）10時～
会 場	片瀬中学校会議室